

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■ランプについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	

製品・お取り扱いなどのご相談は		修理・アフターサービスのお問い合わせは	
お客様相談室		サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話	ナビダイヤル (全国共通番号)	電話
	0570-055123		0570-015123
	受付時間：9:00~17:30		FAX 0570-025123
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。		受付時間：9:00~17:30	
FAX 072-986-5036		※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。	

- ナビダイヤルにかけられない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお電話願います。
- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2016年4月現在)

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	ご使用 中 止
		故障や事故防止のため、電源スイッチを 切り、必ず販売店に点検、修理を依頼し てください。	

	●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
	●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
	●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書	
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷 (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についての相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 ※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より) 本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間	
お買上年月日	
お客様	お名前
	ご住所
	電話 ()
取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AD40474L

お客様へ

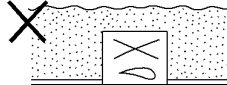
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	 禁止	(一社)日本照明工業会・断熱施工用埋込形照明器具SGⅠ形適合品です。マット敷き工法(住宅用人工鉱物繊維断熱材JIS A 9521)で施工された天井に使用することができます。フローイング工法(吹き込み用繊維質断熱材JIS A 9523)および特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。 →火災の原因になります。 外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。  <マット敷き工法>  <フローイング工法>	 禁止
 厳守			器具やLEDを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。			
		 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
	この器具は天井埋込専用器具です。 傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。		器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
	接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やLEDが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止 周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	厳守 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 器具(部品)の取外しは工事店・電気店に依頼してください。 →感電の原因になります。 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
	禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。 器具の下にストーブなどの高温のものを置かないで下さい。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。	

■定格

型 番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
AD40474L	AC100V	6.0W	パナソニック製専用 LDA6L-E17×1

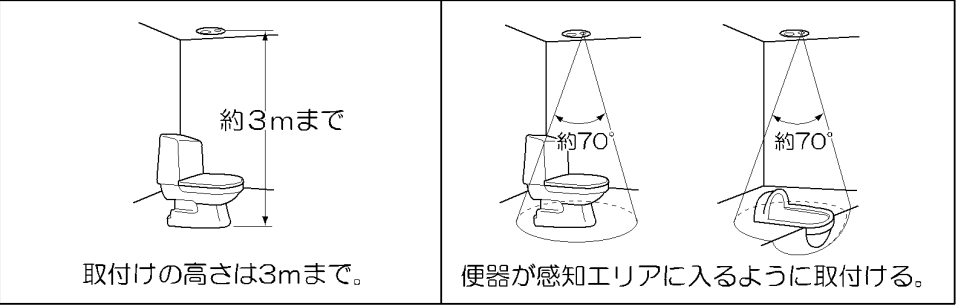
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.5Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

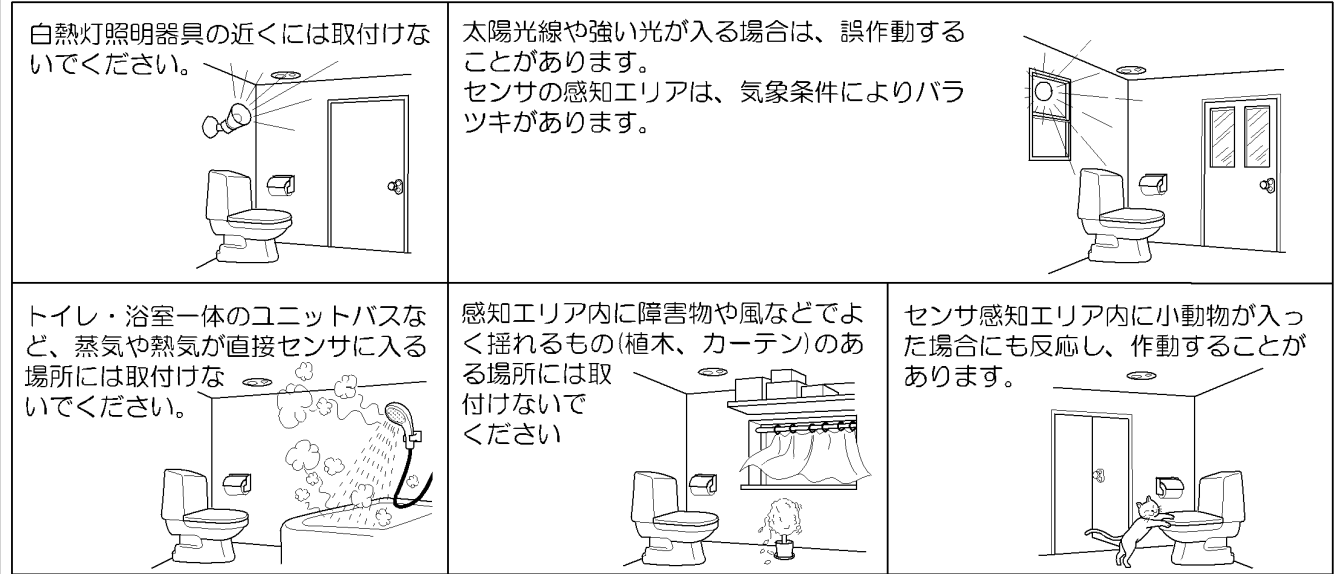
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- ・下記条件の取付位置に取付ける。
性能上感知できない場合があります。



- ・下図のような場所には取付けない
誤作動の原因になります。



- ・無線などによる電波障害で誤動作する場合があります。

3 取付面がクロス貼りの場合

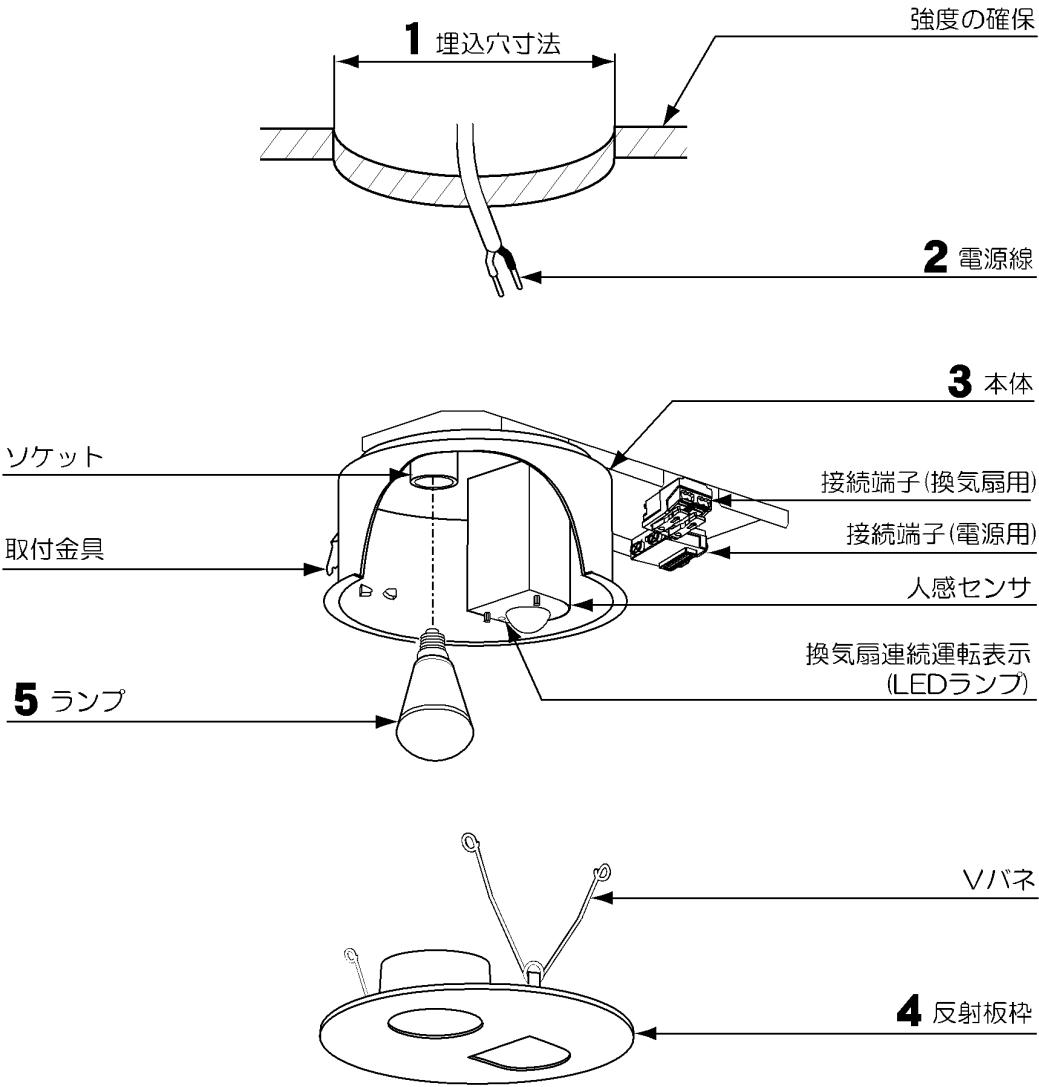
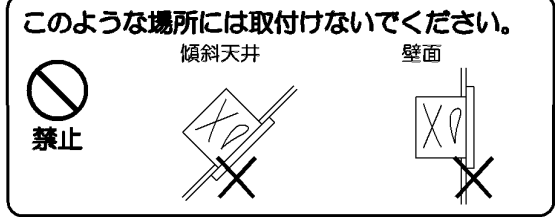
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

4 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉



エリアカットシール・・・1シート

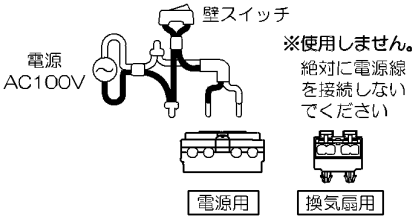
1 天井に埋込穴をあける

2 電源線を接続する

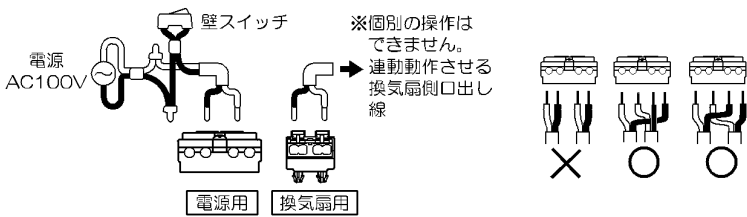
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量6A以下)
電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。
はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

⚠ 警告 電源の接続は確実に行なってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

【換気扇連動をしない場合】



【換気扇連動をする場合】



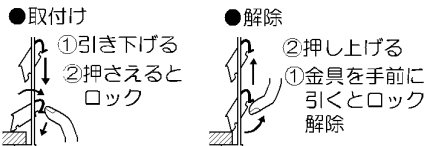
※換気扇用の接続端子には絶対に電源線を接続しないでください。
注) スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

負荷連動(送り配線)できる換気扇
換気扇2～30Wまで

※換気扇以外とは接続しないでください。
※センサ付換気扇は接続できません。

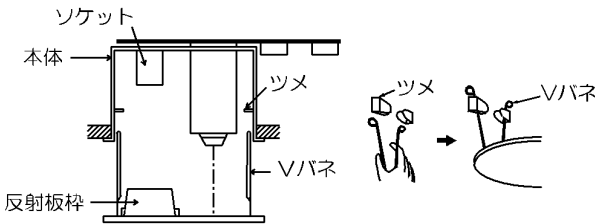
3 本体を取付ける

本体を天井穴へ押し上げ、天井に確実に取付ける。



4 反射板枠を取付ける

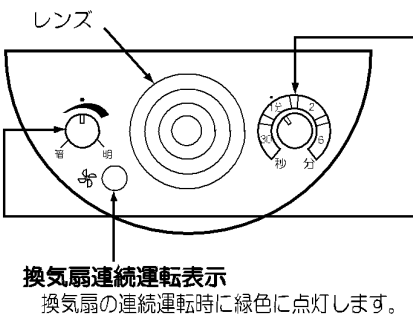
ソケットと反射板枠の方向を合わせ、Vバネを指先で縮めながら本体のツメに引っ掛けて水平に押し上げる。

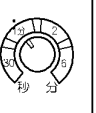


5 ランプを取付ける

6 点灯の確認を行なう

■センサの内容



ツマミ	ツマミ位置	設定内容
	点灯時間設定 ツマミ	30 : 約30秒間点灯 1分 : 約1分間点灯 2 : 約2分間点灯 6 : 約6分点灯 人を感知して点灯する時間を設定できます。
	点灯照度設定 ツマミ	左に回すと周囲が暗い状態に点灯(5lx×～) 右に回すと周囲が明るい状態でも点灯(～無限大) 人感センサのはたらきは始める周囲の明るさを設定できます。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

■感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定ツマミを右いっぱいに戻し、点灯時間設定ツマミを「30秒」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

- ①電源投入後、約40秒間点灯してから一旦消灯し、設定したモードになります。結線および換気扇の作動を確認できます。但し、電源投入から30秒以降に人を感知した場合は、設定したモードに移行します。(電源投入後は約40秒間、換気扇連続運転表示が緑色に点滅します。)
- ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約30秒間点灯します。感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。



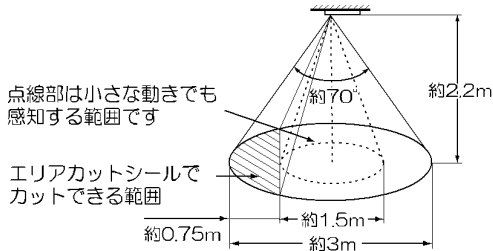
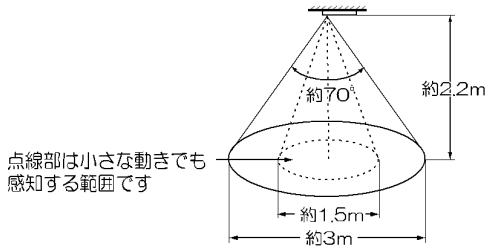
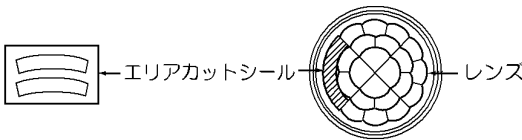
※感知エリアは、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

- ・器具取付け位置によってはドアの位置や開閉方向により感知しにくくなる場合があります。感知しにくい場合は、本体の取付方向を変えてセンサの位置を調整して下さい。

※センサに向かって前後の動作では感知しにくい場合があります。

＜エリアカットシールの貼り付け＞

感知エリアにカーテンなどがあり、風に揺れて点灯する場合はエリアカットシールをセンサのレンズにエリアカットしたい方向に合わせて貼り付けてエリアを狭める。



■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のツマミで点灯照度と点灯時間を設定してください

●センサの動作について

＜センサ待機モード＞

暗い状態で人が近づくとセンサが感知して点灯し、換気扇が作動します。

※電源投入後、約40秒間点灯してから一旦消灯し、設定したモードになります。但し、電源投入から30秒以降に人を感知した場合は、設定したモードに移行します。

・設定照度よりも明るい状態



・設定照度よりも暗い状態



●消灯お知らせ機能

エリア内に人がいてもそのまま動かずにじっとしていると設定時間後に少し暗くなり消灯をお知らせします。暗くなりだしたら、その間に手を動かすなどして再度感知させる動作をしてください。再感知すればまた、明るくなります。

※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で換気扇の2時間連続運転ができます。

＜換気扇連続運転モード＞

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続運転します。

※連続運転中でも設定照度よりも暗い状態で人を感知すると点灯します。
※連続運転中は換気扇連続運転表示が点灯します。

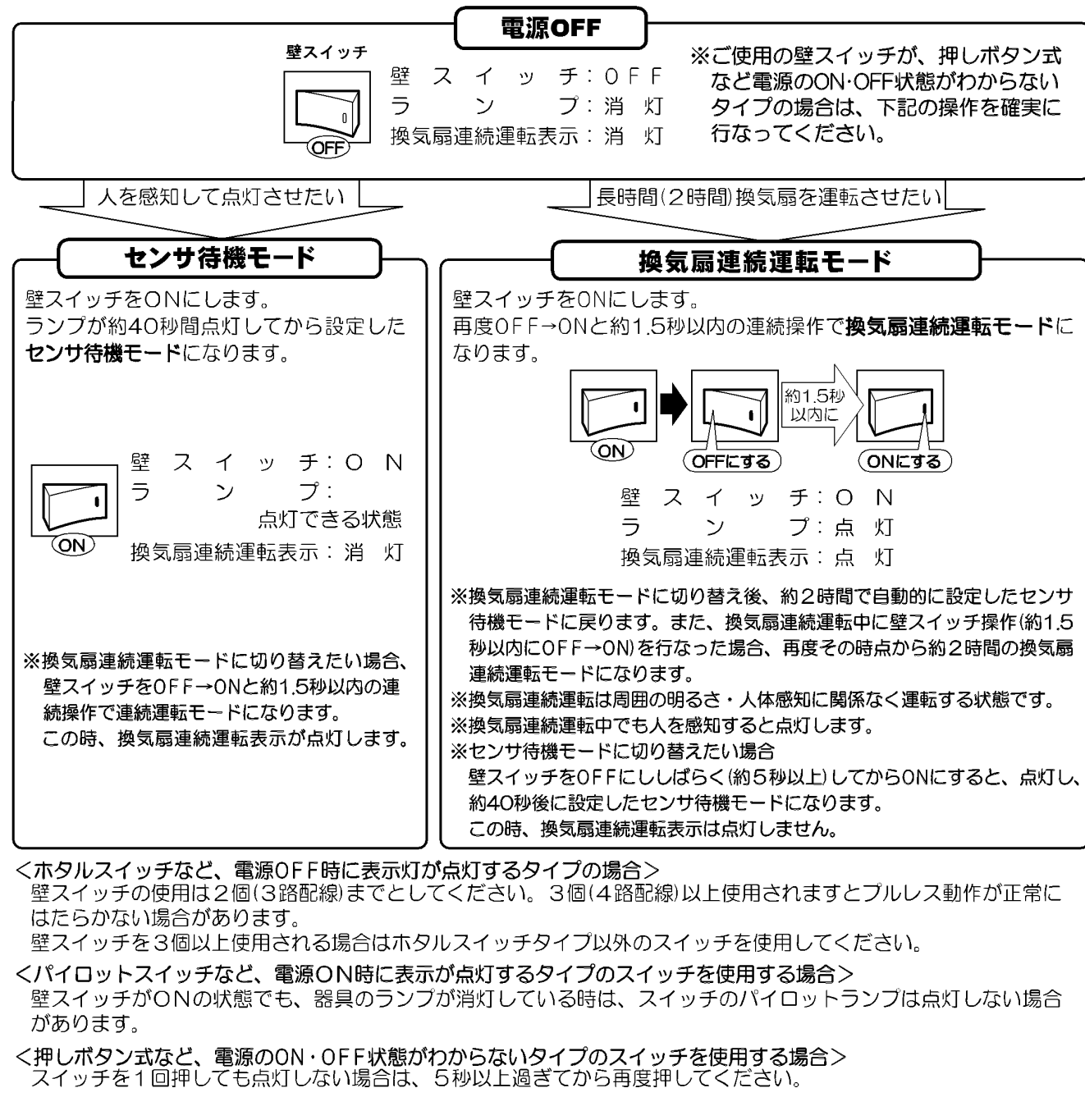


■モードの切り替えを壁スイッチで操作する(プルレス操作)

●この器具は、センサ待機モードと換気扇連続運転モードを壁スイッチを使用して設定できます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると換気扇連続運転モードに切り替わらない場合があります。



！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。
※白熱ランプは使用できません。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。
やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

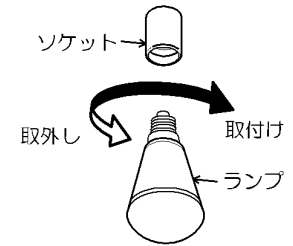
2 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。



修理を依頼される前に

処置した後に異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

- 動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
- 正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして(5秒以上)再びONにしてください。

現象	原因	処置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	ランプが切れている	ランプを交換する
	設定した明るさより、周囲が明るい	点灯照度設定ツマミを「明」側(右)にまわす(説明書の■センサ内容をご確認ください)
感知エリアに人がいないのに点灯する	感知エリア内に人以外の熱源がある ・風などでゆれる物(カーテン・植物) ・犬や猫などの動物 ・ストーブなどの暖房器具	感知エリア内の熱源を取り除く 本センサは温度変化を感知するため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります(故障ではありません)
	壁スイッチをONにした直後 (換気扇連続運転表示部は緑色に点滅)	エリアカットシールを貼り付けて、エリアを狭くする (説明書の■感知エリアの設定をご確認ください)
	感知エリア内に人がいるのに少し暗くなり消灯する	壁スイッチをON後、約40秒間は必ず点灯します(故障ではありません)
感知しにくいときがある	人が静止している(動きが小さい)	少し動けば点灯します
	点灯保持時間の設定が短い (消灯お知らせ機能が働いている)	点灯時間設定ツマミで時間を長く設定する(説明書の■センサ内容をご確認ください)
換気扇が運転しない	室温が高くなり、人と床面の温度差が小さい	温度変化量を感知しますので、温度変化が小さい場合、感知しにくくなります(故障ではありません)
	照明と換気扇の間に設置した壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする